

予防接種の種類		月齢・年																							
		2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	
定期	◎ロタウイルス感染症	経口生ワクチン		※初回接種は14週6日までにを行います。生後15週0日以降の初回接種は安全性が確立されておらず、おすすめしていません。													【注意】 2種類のワクチンがあります。ワクチンによって接種回数が異なります。また原則、途中でワクチンの変更はできません。								
	対象疾病:ロタウイルス感染症 公費対象:以下の2つのうち1つを選択 ロタリックス(1価)24週0日まで ロタテック (5価)32週0日まで	標準的なスケジュール		ロタリックス(1価):生後6週から24週0日までに2回 ロタテック (5価):生後6週から32週0日までに3回													2種類のワクチンのうち、いずれか1つを選択する。								
	接種間隔	27日以上の間隔をおいて2回または3回																							
定期	◎B型肝炎	不活化ワクチン															【注意】 母子感染予防の為にB型肝炎ワクチンの接種を受ける場合は、健康保険が適用される為、定期接種(公費)対象外となります。								
	対象疾病:B型肝炎 公費対象:生後12か月未満 (1歳のお誕生日前日まで)	標準的なスケジュール		生後2か月から生後8か月の間に3回																					
	接種間隔	27日以上の間隔をおいて2回行った後、1回目から139日以上の間隔をおいて1回(計3回)																							
定期	◎小児用肺炎球菌	不活化ワクチン															【注意】 小児用肺炎球菌予防接種については、標準的なスケジュールで接種を受けられなかった場合、接種回数や接種間隔が変わります。								
	対象疾病:小児の肺炎球菌感染症 公費対象:生後2か月～60か月未満 (5歳のお誕生日前日まで)	標準的なスケジュール		生後2か月から生後6か月の間に初回接種を開始(R6.10月～20価プレバナーと15価バクテリナ2種類となる) ※20価プレバナーと15価バクテリナの2種類があり、原則20価を使用します。15価で接種を開始した場合は、15価で接種を完了します。20価で接種を開始した場合は、20価で接種を完了します。途中で15価⇔20価の変更はできません。(安全性、有効性に関するデータがないため。)																					
	接種間隔	[初回接種] 生後24か月(標準的には生後12か月)までに27日以上の間隔をおいて3回 [追加接種] 初回終了後60日以上かつ生後12か月以降(標準的には生後12か月から14か月の間)1回																							
定期	◎5種混合	不活化ワクチン																							
	対象疾病:ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ 公費対象:生後2か月～90か月未満	標準的なスケジュール		[5種混合]生後2か月から生後7か月の間に初回接種を開始(R6.4月～5種混合開始)																					
	接種間隔(5種混合)	[初回接種] 20日以上(標準的には20日から56日まで)の間隔をおいて3回 [追加接種] 初回終了後6か月以上(標準的には6か月から18か月まで)の間隔をおいて1回																							
定期	◎BCG	注射生ワクチン																							
	対象疾病:結核 公費対象:生後12か月未満 (1歳のお誕生日前日まで)	標準的なスケジュール		生後5か月から生後7か月の間に1回																					
定期	◎MR	注射生ワクチン																							
	対象疾病:麻疹・風しん 公費対象:[1期]1歳以上2歳未満 [2期]6歳となる日の属する年度内	標準的なスケジュール		[1期]1歳児の間に1回 (2歳のお誕生日の前日まで) [2期]6歳となる日の属する年度内に1回 (小学校就学前の1年間)																					
定期	◎水痘(水ぼうそう)	注射生ワクチン																							
	対象疾病:水痘(水ぼうそう) 公費対象:1歳以上3歳未満 (3歳のお誕生日前日まで)	標準的なスケジュール		1歳から1歳3か月の間に1回目を接種																					
	接種間隔	3か月以上(標準的には6か月以上1年まで)の間隔をおいて2回																							
定期	◎日本脳炎	不活化ワクチン																							
	対象疾病:日本脳炎 公費対象:生後6か月～90か月未満 ※2期は9歳～13歳未満	標準的なスケジュール		[1期]初回:3歳の間に2回 追加:4歳の間に1回 [2期]9歳の間に1回																					
	接種間隔	[初回接種] 6日以上(標準的には6日から28日まで)の間隔をおいて2回 [追加接種] 初回終了後6か月以上(標準的にはおおむね1年)を経過した時期に1回																							
定期	◎DT	不活化ワクチン																							
	対象疾病:ジフテリア・破傷風 公費対象:11歳～13歳未満	標準的なスケジュール		11歳から12歳の間に1回																					
定期	◎ヒトパピローウイルス(HPV)	不活化ワクチン																							
	対象疾病:子宮頸がん予防 公費対象:小学6年から高校1年の女児	標準的なスケジュール		中学1年の間に3回																					
	接種間隔	令和8年度からシルガード9(9価)のみとなります。 初回接種が15歳未満:1回目から6か月の間隔をおいて1回(計2回)※接種間隔によって3回接種となる場合もあります。 初回接種が15歳以上:2か月の間隔をおいて2回行った後、1回目から6か月の間隔をおいて1回(計3回)																							
行政措置	◎おたふくかぜ	注射生ワクチン																							
	対象疾病:おたふくかぜ 公費対象:1歳児(2歳のお誕生日前日まで)	標準的なスケジュール		1歳児の間に1回																					
		行政措置予防接種の公費負担は、年度ごとに実施する事業です。事業継続の可否に関するご案内は、当該年度の4月1日以降となります。																							